

わいぐ WAIGU

「わいぐ WAIGU」は、青森県南部弁の「私、行く（わあ行く）」という方言が元になっています。地域の課題に対して、市民が自主的に取り組む姿を、この一言に表しました。



～一般社団法人 ガールスカウト青森県連盟 第4団～

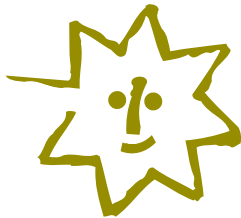
青森県内には7つの団があり、私たち第4団は八戸市において創設57年目を迎える歴史ある団です。現在は月2、3回集まり小学1年～中学3年までのスカウトたちがさまざまな活動を展開しています。上の写真は周辺の水質調査をして環境の勉強をするイベント、「子ども水質探検隊」の時の様子です。

子どもが好きで活動に興味のある18歳以上の方、私たちと一緒に活動してみませんか？ぜひ一度遊びにいらしてください。

詳しくは3ページをご覧ください。

も く じ

- ★特集 「ボランティア・市民活動フェスティバル」・コラム……………2P
- ★表紙団体紹介・わいぐライブラリ……………3P
- ★WA～IGU情報！……………4P



2019

ボランティア・市民活動フェスティバル

去る令和元年9月29日（日）、市庁前広場にて、ボランティア・市民活動フェスティバルが開催されました。ふれあいセンターわいぐも参加し、ボランティアや市民活動に興味があり立ち寄った方々に、センターの説明や登録団体の紹介などをさせていただきました。

ステージでは市民活動団体の紹介や、保育園の子どもたちのダンス、マジシャンによるマジックなどが行われました。お天気にも恵まれ、様々なコーナーで楽しんで頂けた一日となりました。



ふれあいセンターわいぐ



保育園から子どもたちのダンス

コラム新シリーズ!

あなたも私も主役、それが市民活動!

1

ペンネーム：二つの翼



今年、我が家の畑に小さなスイカが2個できた。リンゴくらいの大きさで、マイクロスイカと名付けたが、スイカであることは間違いない。種や苗を植えたわけでもなく、おそらく昨年までに土に埋めた残飯から勝手に芽を出し、花を咲かせ実を結んだのだろう。だって、植物は種や苗を植えなければ芽を出して実を結ばないのだもの。

市民活動は植物に似ている。「私たちってこんなに素晴らしい活動をしているのに」「こんなに素敵な考えを持っているのに」「こんなにがんばってるのに」、なぜ、イベントに人が集まらないのか、なぜメンバーが増えないのか、と嘆いている。まさに、私自身だ。でも、よく考えてみたら、積極的に自分たちの思いを伝えたり、メンバー募集しているよと声高らかに話すわけでもない。活動も細々だ。これ

では新しいメンバーという芽は出ない。種をまいていないのだから当然の結果だ。「こんなことしてるよ」「一緒に社会に貢献しようよ」という種を蒔かなければならない。それは言葉だけでなく日頃の行動からその種が蒔かれているかもしれない。

我が家のマイクロスイカが大きくならなかったのは放っておいたからだ。芽が出たら水や日光のほかに栄養も必要だ。市民活動も新しいメンバーという芽が出たら、寄り添って一緒に歩みながら、知恵や経験を分かち合うことによって大切な仲間になっていくのだと思う。そんな仲間づくりができれば素敵だ。

え？マイクロスイカはどうなったか？

リンゴやトマトと一緒にジュースで生ジュースになり、私のおなかの中に納まった。

★ 登録団体紹介

一般社団法人 ガールスカウト青森県連盟 第4団

ガールスカウトは1910年にイギリスで誕生しました。国籍・人種・宗教の違いを超え150カ国で活動する世界最大の少女と女性のための教育団体です。

「そなえよつねに」をモットーとし「自己開発」「人とのまじわり」「自然とともに」を育成目標として日々活動に励んでいます。

私たち第4団でもガールスカウト独自のプログラム・募金活動・奉仕活動・野外訓練・県内外スカウトとの交流や、国際交流・海外派遣、海外難民支援、そして災害地の子ども達への支援など多岐にわたり活動しています。中でも年2回三沢米軍基地内で開催される日米交流会があり、スカウト達は言葉の壁を超えて出会いを楽しみにしています。

国内や県内の交流としては、各団で課題を持ち寄りそれについて見識を深める機会もあり、それぞれが新しい発見にワクワクしています。

楽しい活動の中で「考える力」「行動する勇氣」「支えてくれる仲間を得る」ことを身に付け社会へと羽ばたいていくスカウト達を見守りながら、共に私たち大人も活動を通して経験できる生涯学習の大切な機会だと考えています。



「薬物撲滅キャンペーン」に参加したスカウトの子どもたち

私たちの団では小学1年生～高校3年生までのスカウト（少女）を募集しています。

集会の見学・体験などご希望の方は下記へお問い合わせください。

【問い合わせ先】

一般社団法人 ガールスカウト青森県連盟
TEL 017-729-1965
(月曜・木曜 13:00～16:00)

～わいぐの魅力～

日頃知ることのない団体の活動やイベントを知ることの出来る場所です。

★ わいぐライブラリー

寄付をしてみよう、と 思ったら読む本



出版元) 日本経済新聞出版社
著) 渋澤健、鶴尾政尊

なぜ、寄付するといいいことがあるのか、どんな分野に寄付金が必要とされているのか、数ある中から寄付をする先をどう選べばいいか・・・日本ファンダレイジング協会を立ち上げたコモンズ投信会長による、はじめての寄付の本。

わいぐでは、市民活動に役立つ書籍を設置しております。スタッフのお勧めをご紹介します。

これだけは知りたい! 公益認定申請はやわかり



出版元) 公益法人協会
編集) 公益財団法人
公益法人協会

公益法人は、社会的信頼と支援が望めて税制優遇が得られる。この一冊で、認定取得とその後の運営について知りたいことがわかる!! 認定の仕組みと取得、その後の手続きまでを網羅的に解説。



【助成金情報】

【令和2年度子どもゆめ基金助成金】

子どもの体験活動・読書活動

●助成の対象となる活動

- ①自然体験活動
- ②科学体験活動
- ③交流を目的とする活動
- ④社会奉仕体験活動
- ⑤職場体験活動
- ⑥総合・その他の体験活動
- ⑦読書活動

●助成対象期間

令和2年4月1日から令和3年3月31日までの間に実施する事業

●助成金額

1活動あたりの助成金の額は、全国規模の活動は300万円、都道府県規模の活動は100万円、市区町村規模の活動は50万円を標準額(目安)とする

●応募期間

- ・一次募集(活動期間: 令和2年4月1日~令和3年3月31日)
 - ①郵送申請: 令和元年10月1日~11月12日
 - ②電子申請: 令和元年10月1日~11月26日
- ・二次募集(活動期間: 令和2年10月1日~令和3年3月31日)
 - ①郵送申請: 令和2年5月1日~6月16日
 - ②電子申請: 令和2年5月1日~6月30日

子ども向け教材開発・普及活動

●助成の対象となる活動

子ども向け教材開発・普及活動

●助成対象期間

- (1) 令和2年4月1日から令和3年2月末日までの間に行う教材開発・普及活動
- (2) 既に開発が完了しているソフトの改修等により行う教材開発・普及活動

●助成金額

1活動あたりの助成金の額は、500万円を標準額(目安)、1,000万円を限度額とする。

●応募期間

令和元年10月1日~11月5日 17時締切
※電子申請のみ応募可



●助成対象団体

社団法人、財団法人、NPO法人、法人格を有しない地域のグループ・サークルなど、青少年教育に関する活動を行う民間の団体

●助成対象費用

助成金の交付の対象となる経費は、活動を実施するために真に必要な経費

●書類の提出先及び問合せ先

〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1 TEL: 03-5790-8117, 8118 (子どもゆめ基金)
 子どもゆめ基金フリーダイヤル(無料) : 0120-579-081 (平日9:00~17:45) FAX: 03-6407-7720
 【URL】 <https://yumekikin.niye.go.jp/> ※HPより申請書をダウンロードできます。

紹介団体からの一言マメ知識!

- 公益社団法人ガールスカウト日本連盟は2020年(令和2年)に100周年を迎えます。私たち青森県第4団は今年57年目を迎えました。
- ワールドセンター・・・海外にはガールスカウトの4つのセンターがあります。イギリス・スイス・メキシコ・インドにあり、スカウト達の憧れの場所です。
- 世界のガールスカウトは毎年2月22日にお互いのことを思い合い姉妹であるという意識を高める日としています。

編集発行: 八戸市市民活動サポートセンター
「ふれあいセンターわいぐ」
発行回数: 年3回(6月、10月、2月)

〒039-1166 八戸市根城8-8-155
総合福祉会館「はちふくプラザ ねじょう」3階
TEL: 0178-73-3311 FAX: 0178-73-3312
E-mail: supo-cen@htv-net.ne.jp